

令和4年度第4回全史料協大会・研修委員会 会議録（概要）

日時：令和5年2月20日（月） 9時30分～16時

開催方法：オンライン方式

出席者：吹屋委員長、長谷川副委員長、新井委員、蓮沼委員、藤委員、加藤委員、三宮委員、大月委員、事務局（山崎・吉田・山本）

オブザーバー：西木氏（東京都公文書館）／金原氏・嵐氏（徳島県立文書館）

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

(1)令和4年度事業報告・決算報告について

- ・それぞれ事務局より説明し了承された。

(2)第48回全国（滋賀）大会の総括について

※オンラインで開催された滋賀大会について振り返り、今後の大会運営について協議した。

主な意見は以下のとおり。

①大会の内容

- ・研修会で取り上げた電子記録の問題は今後も取り上げていくとよい。
- ・特別研修会で取り上げた専門職問題は今後も取り上げていく必要がある。
- ・地域に即したテーマで大会を実施していくべきで、今大会はよかったと思う。

②オンラインでの大会

- ・（特別研修会で質疑等がほとんど出なかったことを受けて）対面の大会では参加者を見ながら指名して発言を求めることもできるが、オンラインだと場の雰囲気（参加者の雰囲気）がつかみづらかった。

③ブレイクアウトルームの取り組みについて

- ・ポスターセッションは発表者と参加者の意見交流がよくできていたと思う。
- ・交流会は企画としてはよかったと思うが、運営の仕方に工夫が必要と感じた。
- ・フリートークルームの部屋を設けるべきであった。

④その他

- ・開催地からの参加者（参加自治体）が少なかった。参加者増に向けた取り組みが必要だと感じた。

(3)令和5年度事業計画・予算案について

- ・それぞれ事務局より説明し了承された。

(4)令和5・6年度委員体制について

- ・現委員は留任の方向で了承された。

(5)第49回全国（東京）大会について

※決定事項は以下のとおり。

・会場について

当初昭和女子大を検討していたが、会場使用にあたり大会に必要な期間が確保できない可能性が出てきたことから、代替会場は近隣の駒澤大学に変更する。

・大会期間について

駒澤大学への最終確認は必要だが、11月30日（木）・12月1日（金）とする。なお、11月29日（水）は事前準備日（含：令和5年度第3回大会・研修委員会）にあてる。

・開催方法について

具体的な方法は今後検討が必要だが、ハイブリット方式（対面とオンラインの併用）で実施する。

・内容について

具体的な内容は次回の検討課題であるが、施設見学を取り入れたものとする。

昭和女子大の取り組みを踏まえた内容を考えていく。

(6)今後の全史料協大会・研修委員会の運営について

- ・事務局から、任期を終えるにあたり、事務局の負担軽減について提案を行った。このうち、委員の増員については、大会運営サポートを募ることで代替できることから反対となる。その他については次期に引き継ぐ。

4. その他

5. 閉会

以上